

出張報告書

平成 27 年 8 月 17 日

市議会議長

鳥居 宏次 様

会 派 名 公明党

代表者氏名 松本 妙子

下記のとおり報告します。

記

- 1 目 的 視察の為
- 2 出張先 兵庫県豊岡市
- 3 出張期間 平成 27 年 8 月 10 日～平成 27 年 8 月 10 日
- 4 出張者氏名 松本・岩崎・桑原・友永・南
- 5 てん末報告

豊岡市では持続可能な地域公共交通を目指して「チクタク」を導入し、この地域の地域による地域のための公共交通により交通空白地域の解消を図っています。本市に於いてもバスの限界を超えた地域での運用の参考事例として豊岡市に行き、詳細を聞きだし一般質問の参考とさせていただきました。

今月10日に兵庫県・豊岡市に地域主体交通、通称「チクタク」地区の乗合タクシーについて視察に行きました。豊岡市では、2008年9月末に路線バス事業者が経営悪化を理由に大幅な路線休止に踏み切り、公共交通空白地域が発生。住民生活への影響が懸念されたため、バスの限界を超えた地域における「地域の地域による地域のための公共交通」を目指し、市独自の輸送サービスを導入、市民の生活の足を確保しています。具体的には、市街地中心部を循環する「コバス」が市街地の回遊性を確保し、路線バスが市の中心部と地域の拠点をつなぐ。ただ、路線バスの休止地域には、市営バス「イナカー」を運行。「イナカー」が運行していない交通不便地域については、地域が運営する有償運送サービス「チクタク」を創設しています。

「チクタク」は、事業主体が豊岡市で車両は市公用車を無償貸与し、地元住民で構成する運営協議会（小学校区単位で形成）が運行主体で、運転手は地域住民がボランティアで行っています。通院や買い物など生活の足として評判で、地域によっては、市営バス運行時に比べて利用者が6倍超に増加しています。この先進事例を参考に本市に於いても活用出来ないかを調査・研究させていただきました。